



令和7年5月30日

浦和明の星幼稚園

園長 栗田 亨

真夏日に迫る日があると思うと、うすら寒い日があります。うっとうしい梅雨の季節になろうとしています。お蔭様で、レッズのハートフルサッカーも、各学年の遠足も天候に恵まれ、所期の目的を達成できたこと大変嬉しく思います。年少の親子遠足で驚いたことがあります。コロナ後は、保護者の方に抱っこされて集合写真を撮るのが当たり前になっていました。すると、どうでしょう。1組はもちろん2組も3組も、子どもだけで親の前に立って、後ろに親が並ぶ。コロナ前の並び方で撮影ができるではありませんか。お子さんが育っているのでしょうか。おひさま教室出身者が多いので幼稚園の生活に慣れるのが早いのかもしれません。大変素晴らしいです。そういえば、今年の年少組の教員は、補助の教員が居ることもあったか、5月の給食開始から子どもの世話をしながら、掻き込むという状態ですが、一緒に給食を食べることができています。

19日(月)に行われた、PTAマリアの会総会では、本年度の役員及び予算が承認されました。長澤前会長には、フルタイムで働きながらの会運営、大変お疲れ様でした。西城新会長には、通常の会運営に加え創立60周年の年、園と共に周年事業を盛り上げていただければと思います。会計報告や予算案を見てつくづく有難いと思うことは、教職員に対して研修補助費を出していただけるということです。昨年度は、これを使って大学教授や小学校の校長先生をお呼びして、これからの保育や作品展の在り方について勉強させていただきました。また、秋には全教職員でカトリック麹町聖イグナチオ教会に出掛け、神父様からカトリック教育について教えていただくことができました。本園PTAの伝統ともいえる大変素晴らしい制度であると改めて感じました。今年もまた、子どもたちの豊かなこころを育てるため、保育の更なる質の向上のために有意義に使わせていただきます。園としても、ご協力いただく保護者の皆さんを応援するため、今後も会の後に我が子の様子を見ていただく「ついでに参観」などを進めていきますので、ボランティア等含めましてよろしくお願いします。

26日(月)回復基調にある園児数を確かなものにしようと、早くも第1回幼稚園見学会を開催し、大勢の方にお越しいただきました。ありのままの園の姿を見ていただこうと、誕生日会に参加し、お祝いのお煎餅も食べていただきました。教員による劇、「三匹のこぶた」は、大好評でした。園長からは、「挨拶は心を表す信号機」と題して、次のようなお話をしました。

朝「お早うございます」とご挨拶するとどんないいことがあるのでしょうか？

1 気持ちがいい。2 元気かどうか伝えられる。3 日が合うとピカチュウの10万Vが流れる。

1から3まで全員正解です。バスの人は、元気よく挨拶する人が多いです。年少さんでも、しっかり目を合わせて挨拶する人が居ます。でも最近、これまで挨拶をしていたのに、しなくなってしまう人や日によってする時としない時がある人が居ます。挨拶は、皆さんの心を表す信号機です。いつでも元気に挨拶する人は青信号。挨拶する時としない時がある人は黄色信号。残念ながら、まだ挨拶しない赤信号の人も、毎日元気に挨拶するようになって青信号になるといいですね。浦和明の星幼稚園のすべての皆さんの心が青信号になるように、園長先生は毎朝玄関に立って皆さんを元気な挨拶で迎えます。

6月は、一年の中で一番保育日数が多い月です。プール指導も始まります。園外保育で見沼田んぼに出掛ける学年もあります。今年もまた暑い夏になりそうですが、体調管理には十分留意していただき、お子さんが毎日元気に登園できますように、そして心の信号機が青で居られますように、教職員一同精一杯務めて参りますので、園と連携して取り組んでいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いします。